

の の オゼックスを飲まれるお子さんへ



\\ どちらが 飲みやすい ですか? //



の の
飲むおくすりの目安

15kg	20kg	体重	15kg	20kg
 0.6g	 0.8g			
25kg	30kg~	1回量	25kg	30kg~
 1.0g	 1.2g			

計量スプーン小さじ(5cc)使用(実物大)

富士フイルム 富山化学株式会社

1錠：直径約6.6mm、厚さ約3.6mm(実物大)

実際のおくすりの色は若干異なることがあります。

患者さん・保護者ご確認用(インフォームドコンセント用)

オゼックス小児用製剤 1日投与量早見表

体重 (kg)	1日投与量(分2)	
	オゼックス細粒 小児用15% (g)	オゼックス錠 小児用60mg (錠)
6	0.5	
7	0.6	
8	0.6	
9	0.7	
10	0.8	
11	0.9	
12	1.0	
13	1.0	
14	1.1	
15	1.2	1.5錠×2回
16	1.3	
17	1.4	
18	1.4	
19	1.5	
20	1.6	2錠×2回
21	1.7	
22	1.8	
23	1.8	
24	1.9	
25	2.0	2.5錠×2回
26	2.1	
27	2.2	
28	2.2	
29	2.3	
30~	2.4	3錠×2回

【用法及び用量】

通常、小児に対してはトスフロキサシントシル酸塩水和物として1回6mg/kg(トスフロキサシンとして4.1mg/kg)を1日2回経口投与する。ただし、1回180mg、1日360mg(トスフロキサシンとして1回122.4mg、1日244.8mg)を超えないこととする。

<用法及び用量に関連する使用上の注意>

1. 本剤の使用にあたっては、耐性菌の発現等を防ぐため、原則として感受性を確認し、疾病の治療上必要な最小限の期間の投与にとどめること。
2. 本剤は、食直前又は食後に投与することが望ましい。
3. 小児用60mg錠の体重換算による服用量は、下表のとおりである。なお、患者の体重及び状態から錠剤の投与が難しい場合には、小児用15%細粒の投与を検討すること。

体重	15kg	20kg	25kg	30kg~
1回あたりの服用量	90mg (1.5錠)	120mg (2錠)	150mg (2.5錠)	180mg (3錠)

4. 高度の腎障害のある患者には、投与量・投与間隔の適切な調節をするなど慎重に投与すること（「薬物動態」の項参照）。
5. 炭疽の発症及び進展抑制には、類薬であるシプロフロキサシンについて米国疾病管理センター（CDC）が、60日間の投与を推奨している。なお、長期投与中は、副作用及び臨床検査値の異常変動等の発現に特に注意すること。

添付文書(第11版)より抜粋

製品の詳細については添付文書をご参照ください。

オゼックス細粒小児用15%の1日投与量は次の式で計算できます。

$$\text{1日投与量 (g)} = \frac{12\text{mg/kg} \times \text{体重 (kg)}}{150}$$

ニューキノロン系経口抗菌製剤

処方箋医薬品[®] 薬価基準収載

オゼックス[®] 細粒小児用
15%

トスフロキサシントシル酸塩水和物細粒

ニューキノロン系経口抗菌製剤

処方箋医薬品[®] 薬価基準収載

オゼックス[®] 錠小児用
60mg

日本薬局方 トスフロキサシントシル酸塩錠

注) 注意—医師等の処方箋により使用すること

FUJIFILM
Value from Innovation

富士フイルム 富山化学株式会社

2019年●月作成
1190XXXIS
OZX-1-014

医療関係者用